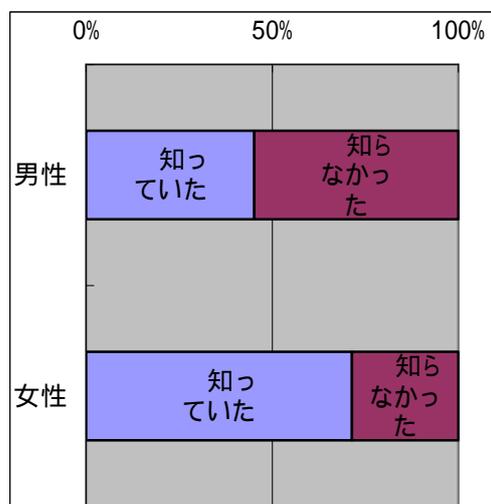
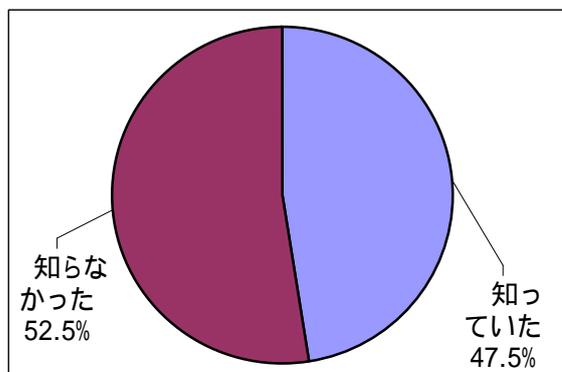


6章 環境の取り組みに対する県民の評価

2 岐阜県が低炭素社会実現に向けて取り組んでいることに関するアンケート

1. 岐阜県は毎年「環境白書」を刊行しています。そのことをご存知でしたか？

	男性	女性	合計
知っていた	33	5	38
知らなかった	40	2	42



【分析】

環境白書を「知っている」と答える人と「知らない」が大よそ半々となった。

男女比の内訳をみると、

「知っている」の内訳はで女性の方が関心を寄せている。

しかし、女性のアンケート記入者が7人と少なく、これらの半数以上が環境問題に関心を寄せていて、割合に反映する形となった。

年代別の内訳をみると、

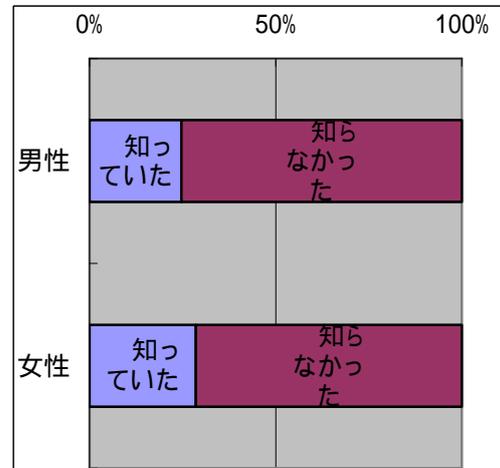
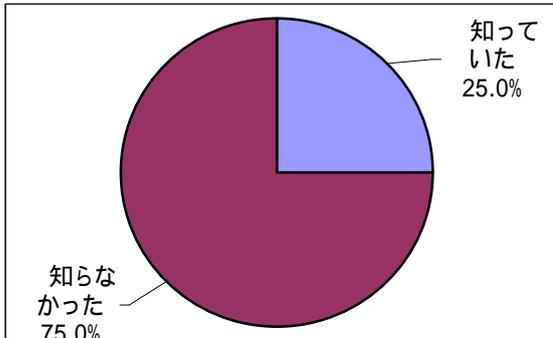
「知っていた」に答えた人は、50歳代が12名一番多く、次に60歳9名30歳代5名、40歳代5名、20歳4名、70歳以上が若干となった。

職業別の内訳をみると、

公務員は勿論、その他（アルバイト、自営業など）がほぼ全員の方が「知っている」と答えているが、会社員の半数の方、無職の方は若干で占めている。

2. 平成 11 年度に策定された「岐阜県新エネルギービジョン」が平成 18 年に改定されました。そのことをご存知でしたか？

	男性	女性	合計
知っていた	18	2	20
知らなかった	55	5	60



【分析】

「新エネルギービジョン策定」は、75%の人が「知らなかった」と答えていて、「環境白書」の52.5%と比べると、「新エネルギービジョン」の方が22.5%も「知らなかった」が多く、「環境白書」より、「新エネルギービジョン」の方が更に知られていない結果となった。

環境白書の「知っていた」人から、「新エネルギービジョン」を「知らなかった」が更に半数の約%減ったものである。

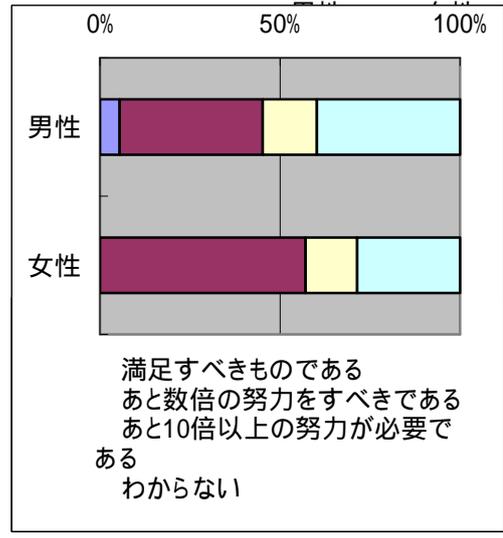
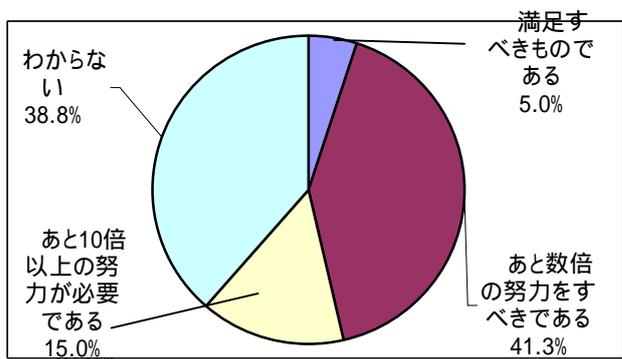
従って、環境白書を「知らなかった」人の全員が、新エネルギービジョンも「知らなかった」となった。

男女比の内訳をみると、

環境白書に掲げたように、女性「知っていた」の割合が多少増えているもの、アンケートに答える人数が少なく、比較には相当するものではない。

3. 旧「岐阜県新エネルギービジョン」が策定された1999年度（平成11年度）には新エネルギーが石油換算で約5万キロリットル導入されていました。そして2004年度には約9万キロリットルへと増えました。そこで、2010年度目標値を旧ビジョンの約12万キロリットルに代えて新ビジョンでは約15万キロリットルとしました。他方、岐阜県の2000年度における一次エネルギー供給量は653万キロリットルでしたので、新ビジョンの目標値はその約2.3%にあたります。このことから、岐阜県における低炭素社会形成 あるいは 温暖化防止 への努力は満足できるものと言えますか？

	男性	女性	合計
満足すべきものである	4	0	4
あと数倍の努力をすべきである	29	4	33
あと10倍以上の努力が必要である	11	1	12
わからない	29	2	31



【分析・評価】

- 「あと数倍の努力をすべきである」が全体の4割を示した
- 「わからない」が「あと数倍の努力をすべきである」とほぼ同等で、全体の約80%を示した。
- 「あと10倍以上の努力が必要である」が15%で3番目を示した。

男女比の内訳をみると、

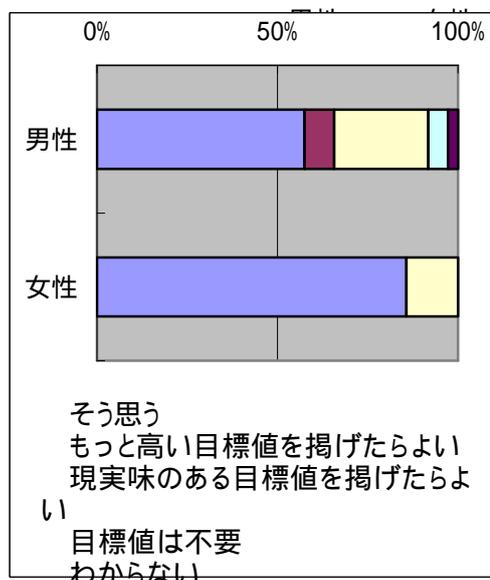
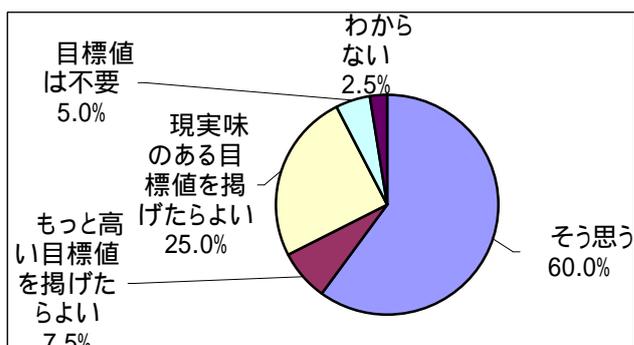
男性の方は、「あと数倍の努力をすべきである」「わからない」の同数の人で示した。

女性の方が、「あと数倍の努力をすべきである」が割合的には多い。

4. 民主党政権になって、「1990年を基準にして2020年までに温室効果ガス排出量を25%削減する」という中期目標が掲げられました。

岐阜県でもこの中期目標と同程度の目標を掲げたらよいとお考えになりますか？

	男性	女性	合計
そう思う	42	6	48
もっと高い目標値を掲げたらよい	6	0	6
現実味のある目標値を掲げたらよい	19	1	20
目標値は不要	4	0	4
わからない	2	0	2



【分析】

民主党が掲げた中期目標に賛同し、25%削減が妥当で、岐阜県でも同程度の目標を掲げた方がよい「そう思う」が、全体の半数以上の60%を示し高い数値となった。

次に「現実味のある低い目標値を掲げたら良いと思う」という意見は、25%を示すもので全体の4分の1となっている。

「もっと高い目標を掲げたら良い」が次いで3番目にある。

「目標値は不要」が5%と挙げられている。

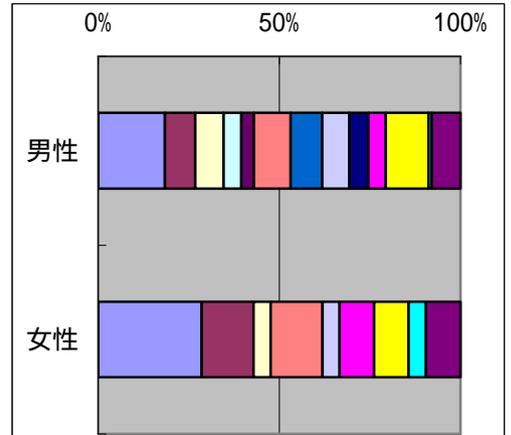
「わからない」は、2.5%

男女比の内訳をみると、

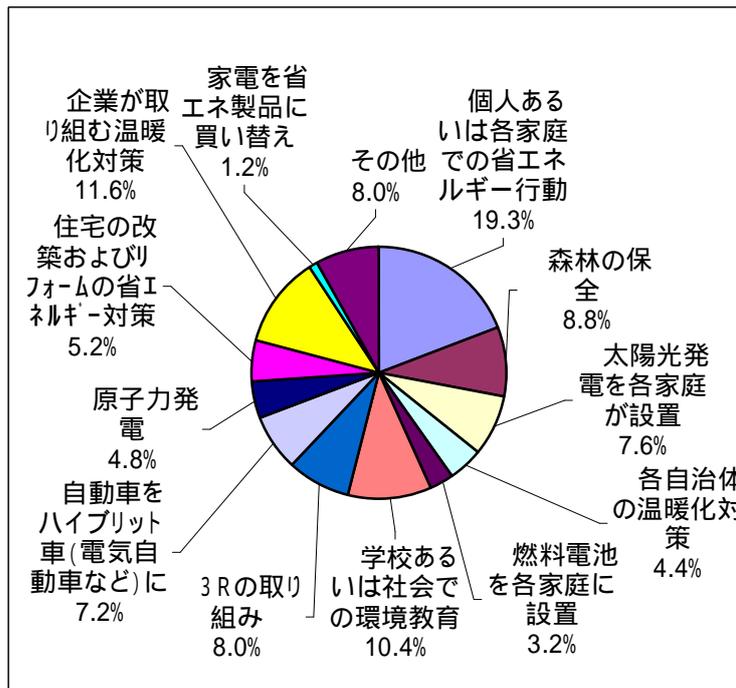
女性は、「もっと高い目標を掲げたら良い」「目標値は不要」「わからない」には、全く0人（ただ、アンケート記入者が少ないので分析に値するかが疑問）となった。

5. 温暖化対策で、特に期待できることは何だと思われますか？

	男性	女性	合計
個人あるいは各家庭での省エネルギー行動	42	6	48
森林の保全	19	3	22
太陽光発電を各家庭が設置	18	1	19
各自治体の温暖化対策	11	0	11
燃料電池を各家庭に設置	8	0	8
学校あるいは社会での環境教育	23	3	26
3Rの取り組み	20	0	20
自動車をハイブリット車(電気自動車など)に	17	1	18
原子力発電	12	0	12
住宅の改築およびリフォームの省エネルギー対策	11	2	13
企業が取り組む温暖化対策	27	2	29
家電を省エネ製品に買い替え	2	1	3
その他	18	2	20



個人あるいは各家庭での省エネルギー行動
 森林の保全
 太陽光発電を各家庭が設置
 各自治体の温暖化対策
 燃料電池を各家庭に設置
 学校あるいは社会での環境教育
 3Rの取り組み
 自動車をハイブリット車に
 原子力発電
 住宅の改築およびリフォームの省エネルギー対策
 企業が取り組む温暖化対策
 家電を省エネ製品に買い替え
 その他



【分析】

「個人あるいは各家庭での省エネルギー行動」が、約4分の1を示しており、民生に係る分野で大きく環境負荷を与えていて、家庭での省エネルギーの推進が必要と認識されている。

次に、「企業が取り組む温暖化対策」「学校あるいは社会での環境教育」と続き、と併せて、社会全体で取組まなければならないという結果・意識が表れたものと言える。

家庭・企業・学校での取組みが、全体で4割を超える結果となった

一方、なかなか現実的に「各自治体の温暖化対策」は4%と少なく、自治体単位

で行うことは難しいことが伺える、自治体との連携を考えることも必要ではないか。

また、具体的に家庭に導入する「燃料電池を各家庭に設置」「家電を省エネ製品に買い替え」については、温暖化対策に結びつく関心が低い、現実的な意見と受け止める。

一方、具体的に家庭に導入する「太陽光発電を各家庭に設置」や「自動車をハイブリット車」においても、上記より関心が高い。

国や自治体の「太陽光発電導入」の補助金を支援する「しくみ」や「メリット」が大きく反映しているのか。

岐阜県は、県土面積の8割以上が森林であり、全国でも高い森林を保有しており、「森林の保全」も多くの役割を果たす供給源として必要であることは明確である。

男女比の「ベスト3位」までと「ワースト3位」までをみると、

ベスト1位～3位

(男性) 1位……………「個人あるいは各家庭での省エネルギー行動」

2位……………「企業が取り組む温暖化対策」

3位……………「学校あるいは社会での環境教育」

(女性) 1位……………「個人あるいは各家庭での省エネルギー行動」

2位～3位…「森林の保全」

…「学校あるいは社会での環境教育」

ワースト1位～3位

(男性) 1位……………「家電を省エネ製品に買い替え」

2位……………「燃料電池を各家庭に設置」

3位「住宅の改築およびリフォームの省エネルギー対策」

(女性) 1位～3位 ……「太陽光発電を各家庭に設置」

…「自動車をハイブリット車(電気自動車など)に」

…「家電を省エネ製品に買い替え」 (同数)

結果、残念ながら、女性のアンケート回答者が少なく分析に至らない。

その他、温暖化対策について有効なお考えがありましたら、書き込んでください。

- バイオマス（40 歳代男性）
- バランス政策（50 歳代男性）
- 補助金などの制度をもっとわかりやすくすべきだと思う。（30 歳代男性）
- 税金をかけることも必要（60 歳代男性）
- 目標値を決めて、それを達成できたら優遇などを行う。（40 歳代男性）
- 取り組むための必然性が一人一人に明確となる説明が必要と思われる。
（40 歳代男性）
- 循環型社会の構築（30 歳代男性）
- 省エネルギーも限度が出てくるので、新しい資源を作り出す方法も考えたら良い
と思います。（70 歳代以降男性）
- エコポイントやエコ減税の対象を家電や自動車だけでなく、その他の有効なもの
でも、トップランナー方式を採用することで活性化を計る。（30 歳代男性）
- テレビ、コンビニの深夜営業の廃止（60 歳代男性）
- 交通対策（60 歳代男性）
- 岐阜県は、水力・バイオ資源が豊富です。積極的な活用を考える。（60 歳代男性）
- 大都市部の恒常性、過剰な冷暖房運転の廃止。個人自動車通勤から公共交通 又は
共通使用へ（60 歳代男性）
- 岐阜県には多くの森林があり、これを利用した政策をもっと前向きに出して推進
すべきだ。（40 歳代男性）
- 人間の基本的習慣を身に付ける。不易と流行生活を原点にもどす。（50 歳代男性）
- ・森林の保全、一日も早く着手して頂きたい。
 - ・もっと早く、少しでも早く小さいお子様からお年寄りまで、自分の事として。
 - ・高速道路の無料化など絶対にやめて欲しい。CO₂をたくさん排出するだけ。
 - ・目先だけでなく、未来の子供たちや地球の為に一人一人、今を大切に組み
んで欲しい。（50 歳代女性）

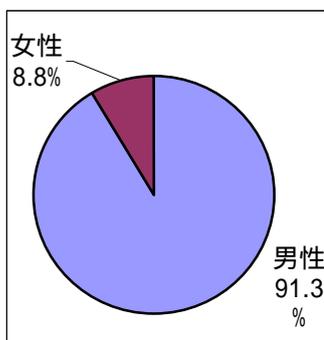
6. 最後にあなたご自身について、ご回答ください。

あなたのお住まいは

岐阜市、高山市、本巣市、中津川市、多治見市、恵那市、関市、土岐市、
美濃加茂市、羽島郡、可児市、飛騨市

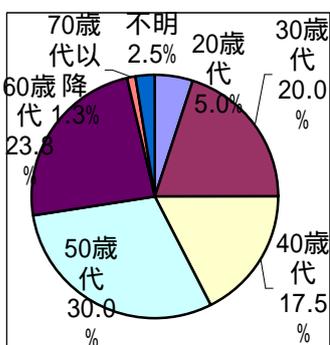
あなたの性別は？

男性	73
女性	7
合計	80



あなたの年代は？

20歳代	4
30歳代	16
40歳代	14
50歳代	24
60歳代	19
70歳代以降	1
不明	2
合計	80



あなたのご職業は？

無職	10
公務員	6
環境団体	39
会社員	12
その他	10
不明	0
合計	77

